

産業保健に携わる保健師・看護師の方へ



産業保健の現場における

ウイルス性肝炎 フォローアップ マニュアル



労働者のこんな声、
どのように対応していますか？

- 「肝炎の検査って受ける必要性あるの？」
- 「健康診断の肝機能の数値に異常はないから大丈夫!？」
- 「仕事が忙しいから、病院に行く暇がなくて…」
- 「治療するとなると、職場の人に知られてしまうし…」

独立行政法人労働者健康安全機構
佐賀産業保健総合支援センター

平成28年3月発行

こんなお悩みありませんか？

ウイルス検査 の勧め

肝がん予防の
第一歩は、
肝炎ウイルス検査を
受けること！

お悩み1

肝炎ウイルス検査の
効果的な勧め方って？

➡ P2へ

陽性者への 受診の勧め

検査で陽性だと
わかって、職域では
陽性者の約6割が
精密検査を
受けていません
(平成26年度佐賀県調べ)

お悩み2

専門医の受診を勧めても、
なかなか行動につながらない…

➡ P3へ

労働者の 状況の把握

せっかく
健康診断で
顔を合わせる機会が
あるのに…

お悩み3

労働者の状況が把握できないので
必要な受検勧奨や
フォローアップができない

➡ P5へ

● 効果的な声掛けのポイント

「今日は貴重な時間をいただき、ありがとうございます。結果をご覧ください。どのように感じられましたか？」受検者が、精密検査を受けない理由は、知識不足ではありません。まず、その思いに耳を傾けてみましょう。また、説明に入る前には「少し、説明させていただいてもいいでしょうか？」と、許可を取りましょう。信頼関係の構築が、受診への第1歩です。



産業保健相談員
(一社)佐賀県産業医学協会
理事 健診部長兼診療所副所長
後藤 英之 先生

お悩み 1

肝炎ウイルス検査の 効果的な勧め方って？

以下の点をわかりやすく伝えましょう。
リスクと早期治療のメリットを
受検者がしっかり理解していれば、
万が一陽性だった場合にも、早期受診に繋がります。

伝えるべきポイント

ポイント

① 肝機能検査とは違う

健康診断に含まれる「肝機能検査」の数値では、肝炎に感染しているかどうかは分かりません。

ポイント

② リスク

肝炎は放っておくと肝がんになることも。自覚症状がないので、知らないうちに進行し自覚症状が出た時には手遅れになることがあります。

ポイント

③ 早期治療のメリット

早いうちであれば薬で治療することができ、肝がんを防ぐことができます。

地域特性

佐賀県は肝がんで亡くなる人が日本で一番多い県です。

ひと押し キーワード

お得感&手軽感

通常だと
4000円~5000円は
かかる検査だけれど
安く受けられますよ。

今回の健診の採血で
一緒にできますよ。
まずは一度受けておけば
安心なので、今回ついでに
受けましょう。



お悩み 2

陽性者に精密検査を勧めても、 なかなか受診につながらない

陽性者が最も動きやすいのは、陽性だと分かったその時。
このタイミングを逃さず、精密検査受診へとつなげましょう。

伝えるべきポイント

ポイント

① 伝える情報を絞る。まずは“精密検査”の勧め

陽性者が短い時間で受け止められる情報は限られています。
治療について伝えすぎる前に、まずは精密検査を受けることの
重要性を伝えましょう。

「放っておくとがんになるリスクがあること、精密検査を受ける
必要があることを伝え、治療についてはその段階ではあまり話し
ません。まずは入り口(精密検査)に誘導することに集中します」



ポイント

② どこで精密検査を受けられるかを知らせ、 具体的な次の行動を促す

精密検査が受けられる医療機関を提示し、
陽性者が次に何をすべきかを明確にしましょう。

「医療機関リストを見せながら、その方にはどの医療機関が
近いのかなど、できるだけ具体的に話しをします」

「受診する気があるようであれば、その場で精密検査の予約を取ってし
まうなど、有無を言わず次のプロセスにつなげるようにしています」



ポイント

③ 家で振り返ることができる資料を準備

陽性結果を書面でしか伝えられない場合や、その場で陽性であることを
受け止めきれないケースもあるため、わかりやすい資料を準備しましょう。

「説明につかった文書そのまま持ち帰ってもらっています」

「検査結果(肝炎ウイルス陽性)が何を意味するのかわかりやすく
説明した文書を検査結果に同封して郵送しています」

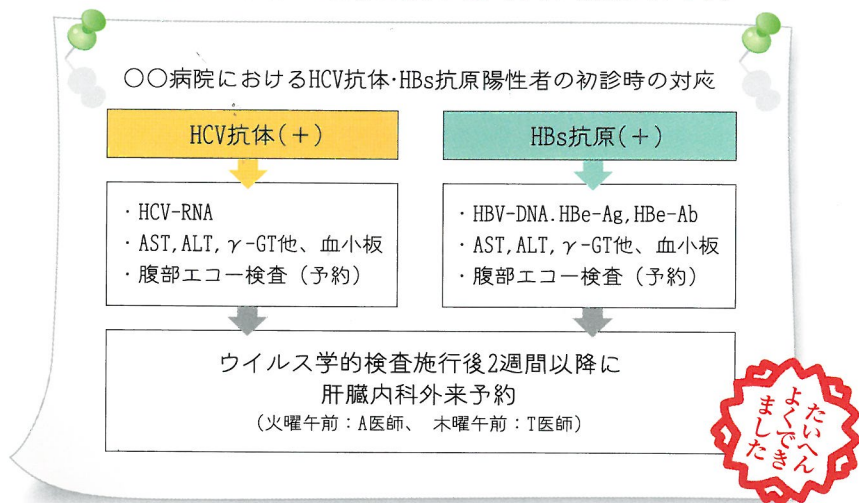


検査結果の説明から、スムーズに 精密検査までつなげるしくみをつくるためには？

特に医療機関の場合は、院内向けに「肝炎ウイルス検査陽性者の初診時の対応方法」を用意して、対応を統一するのも一つの方法です。
特に、医師からの言葉は、陽性者にとって大きな後押しになります。

〈ある医療機関の例〉

「HCV抗体・HBs抗原陽性者の初診時には、何をすべきかを見える化して診察室に貼り、肝臓を専門としない医師でも適切な対応が取れるように徹底しています」



◎事業所との連携について

労働者が肝炎ウイルス検査を積極的に受検し、また、陽性だとわかった場合に精密検査を受診しやすい環境を整備するためには、**職場における肝炎に対する理解が不可欠**です。産業医や、事業所の安全衛生スタッフと連携し、事業主に積極的に情報提供を行っていくのも一つの方法です。

どのように事業所に働きかけていけば効果的なのかについては、産業保健総合支援センターにお気軽にご相談ください。

お悩み 3

労働者の状況が把握できないので 必要な受検勧奨やフォローアップができない

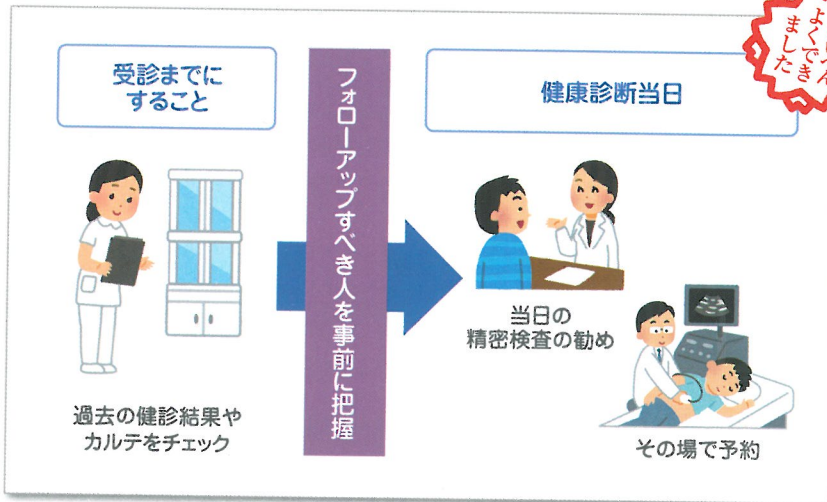
活用できる情報があれば、事前に把握し、
適切な受検勧奨やフォローアップに繋げましょう。

毎年の健康診断時に網を張る体制を作る

過去の健診結果や、医療機関であればカルテをチェックして、事前に労働者の状況を把握し、健診時に確実にフォローアップできる体制を整えましょう。

「事前に受診者のなかから陽性者をピックアップして、カルテと付き合わせてその後の受診状況をチェックしています。未受診だと思われる陽性者は、健診時に必ず肝炎コーディネーターが状況を確認し、精密検査が必要だと思われる場合には強くお勧めしています」

「未受診者には、その場で予約を勧めて、その日のうちに外来で精密検査を実施することもあります」



健診センターなど、事前に労働者の状況を把握するのが難しい場合には？

健診時にアンケートを実施するなどして、
労働者の状況を把握しやすい仕組みを作りましょう。

但し、肝炎検査の結果やその後の受診状況は個人情報です。労働者本人の同意なしに事業主にアンケート結果が渡らないよう、取り扱いには十分注意してください。

〈 参考事例 〉

事前に把握しきれない事らについては、問診票やアンケートとして確認することで、労働者が申告しやすい体制を整えることもできます。

その際、受診についての確認は「過去1年で腹部エコー検査を受けましたか？」など、労働者が理解しやすい質問を投げかけることが大事です。

アンケート例)

1：これまでに肝炎のウイルス検査を受けたことはありますか？

ある ない 分からない

2：(検査を受けたことがある方へ)

ウイルス検査の結果についてお尋ねします。

陽性 陰性 分からない

3：(陽性の方へ) 過去1年で、専門の医療機関で精密検査(腹部のエコー検査)を受けましたか？

4：(陽性の方へ) これまでに、肝炎の治療を受けましたか、受けた場合、それはどんな治療ですか？

受けた ()

受けていない 分からない

陽性者の方は
様々な不安を感じています!

感じている不安に応じて必要な情報を伝えて、
後押ししてあげてください。

◎お薬の進歩によって負担が少なく治療ができるようになってきていること

◎仕事しながらでも治療できること

◎治療には助成金が出ること

陽性者への説明用資材など、
『肝臓なんでも相談窓口』でご提供しています。
お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ

佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター
肝臓なんでも相談窓口

TEL.0952-34-3731

月曜～金曜（祝日除く）10:00～16:00

E-mail : sagakanzosoudan@gmail.com

独立行政法人労働者健康安全機構
**佐賀産業保健
総合支援センター**

TEL.0952-41-1888

月曜～金曜（祝日除く）9:15～17:00

E-mail : sanpo41-8@sagas.johas.go.jp

※お問い合わせは、ホームページ（お問合せフォーム）からどうぞ